

生活の中で活用できる支援となるために

H22. 3. 13
佐賀大学高等教育開発センター
井手 将文

本日の進行

0. 自己紹介
1. 「うごく」手と「うごかない」手
2. コミュニケーションをとる
 - ・コミュニケーションの構造
 - ・意欲を呼び起こす仕掛け
3. Motivational Systems Theory
4. まとめ

自己紹介

九州工業大学
重度四肢まひ者のための
電話機の作製

総合せき損センター
リハエンジニア
肢体不自由 社会復帰支援

- ・ナースコール
- ・パソコン操作
- ・住環境で用いる機器具
- ・就労環境で用いる機器



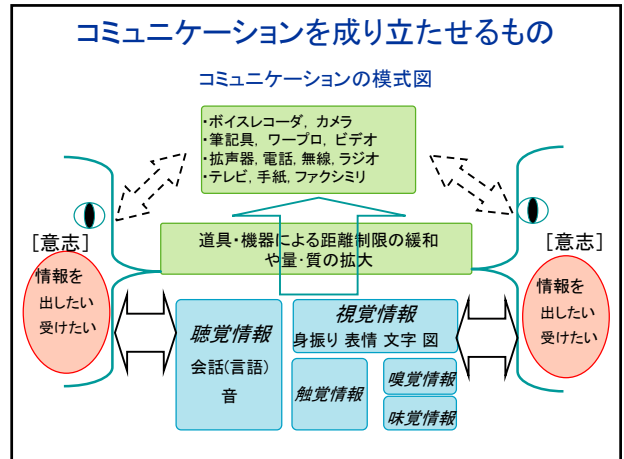
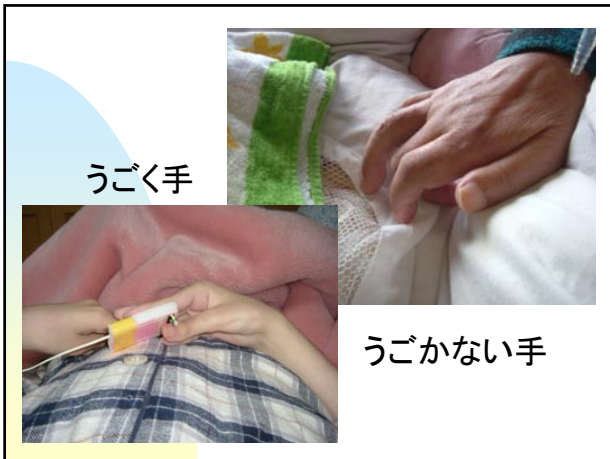
NPO佐賀ひこばえ 独居高齢者 緊急通報支援



NPOお世話宅配便

肢体不自由
発達障害・精神障害
↓
就労
社会参加支援





コミュニケーションを成り立たせるもの

- ・運動機能(発声、書字、身振り、表情)
- ・五感 (聴覚、視覚、触覚、嗅覚、味覚)
- ・機器操作(距離・即時性・量・質)
- ・コミュニケーションの欲求
(言いたい、書きたい、使いたい
／聞きたい、見たい)

障害機能と代償機器

障害機能	意思伝達の媒体	代償機器
作る機能	・身ぶり・手振り・表情 ・言語・音・文字・絵	伝声管・拡声器・警報機・ 人工喉頭・音声合成装置・ 文字音声変換装置 文章作成装置・手話表示装置
受ける機能	感覚器 ・視覚・聴覚・触覚 ・嗅覚・味覚	画面拡大装置・眼鏡・ 補聴器・杖・音声認識・ 各種センサー・スキャナ・ デジカメ
機器操作機能	・情報媒体の加工 離れた場所へ送る 操作の簡単化	電話操作・FAX操作 OA機器の操作(番号記憶、 録音メモ、マクロ操作等) 学習リモコン、環境制御装置

コミュニケーションを求める機能

呼び起こす仕掛け

過去の体験(生活習慣・環境)への共感

音声合成装置
(自分の声がでる)
文章作成装置
(自分の経験を伝える/仕事・家庭)
⇒過去の生活・環境の再現

新しい必要性の認識
⇒意図/教育

電話操作(ワンタッチダイヤル)
(必要性:遠方の孫との会話)
パソコン操作(押しボタン型マウス)
(必要性:魅力ある情報の収集,社会参加)
⇒楽しみの拡大・使命感

Motivational Systems Theory

(M.E.Ford: Motivating Humans 1992)

Achievement /Competence
= $\frac{\text{Motivation} \times \text{Skill}}{\text{Responsive Environment}}$
Biology

達成/能力
= $\frac{\text{意欲} \times \text{技能}}{\text{障害による制限}}$
答答的な環境

意欲:	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いが伝わり、受けとめられている安心感 「いろいろ伝えよう」「今度はこれを伝えよう」 家族／社会の一員としての役割を果たす メッセージを伝えることで、家族の世話ができるという自信 もっと環境に働きかけてみよう いろいろな人と直接話せると、楽しい おしゃべりを楽しむ ゆったりとした時間の流れを楽しみながら話せる
技能:	<ul style="list-style-type: none"> 現在の運動能力にあった、COM方式を選択 「この状況で一番早く伝えられる方法は？」 疲労度やその日の調子にあわせた選択 COM相手の習熟度に適した方法を選択 「この人にはこの方法で伝えれば、うまくいく」
制限:	<ul style="list-style-type: none"> 障害の重症度にあった方法の工夫 視線・瞬き 疲れ易さ 姿勢・時間 福祉用具・機器具
環境:	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも透明文字盤を使っておしゃべりできる環境 あらわされたメッセージを大切に受取る たくさん読み取れたことを一緒に楽しむ

コミュニケーション関連機器の情報源

ALS協会新潟支部 (透明文字盤情報)
<http://www.jalsa-niigata.com/>

日本リハビリテーション工学協会
 コミュニケーションSIG
 「重度障害者用意思伝達装置」導入ガイドライン
 重度障害者用意思伝達装置における操作スイッチの適合事例
<http://www.comsig.jp/com-gl/>

福祉と障害者支援情報の総目次
<http://rel.chubu-gu.ac.jp/soumokuji/>


エイティスクウェアード(福祉機器情報DB)
<http://at2ed.jp/>

生活の中で活用できる支援となるために

1. 誰にでも「自分にできることがある」と、気づいてもらう
2. 簡単な情報を、継続的に提供する
3. よりよいコミュニケーションを目指す


生活の中で活用できる支援となるために

1. 誰にでも「自分にできることがある」と、気づいてもらう
 - ・「動かない」から「動く」に見方を変える
 - ・引き込むコミュニケーションを行う
 - ・一緒にコミュニケーションできる事を喜ぶ

「意欲」を引き出す

ニーズの発見につながる

生活の中で活用できる支援となるために

2. 簡単な情報を、継続的に提供する
 - ・不安／不満の解消
ブザー・簡単リモコン・忘れ物発見機
 - ・「制限」の減少
ベッドサイドでの工夫

成功体験の積み重ね

本人・支援者の「意欲」の向上
色々なチャンネルで簡単な情報を提供

生活の中で活用できる支援となるために

3. よりよいコミュニケーションを目指す
 - ・どこに情報があるのか
 - ・誰が支援してくれるのか

「技能」や「応答的な環境」

講習会の実施
研究会への派遣／報告